

令和 7 年 度

第 3 3 回

大阪公立高校対抗テニス大会（石山杯）

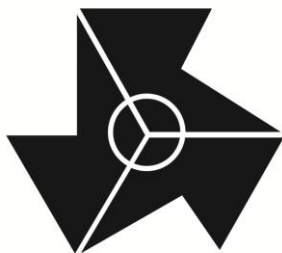
兼 近畿公立高等学校対抗テニス大会大阪府予選

第 1 7 回

大阪公立高校テニス大会個人戦

兼 近畿公立高等学校テニス大会大阪府予選

団体戦	と き	令和 7 年 1 0 月 1 9 日、2 6 日、1 1 月 1 日 1 1 月 8 日、2 3 日
	ところ	各学校テニスコート、M T P 北村
個人戦	と き	令和 7 年 1 1 月 9 日、2 2 日 1 1 月 2 4 日、1 1 月 2 9 日
	ところ	各学校テニスコート、M T P 北村



主 催	大阪公立高校テニス大会実行委員会
後 援	大阪高等学校体育連盟テニス専門部

大会役員

大会会長

佐保田 真一 (伯 太)

大会委員長 (大会レフェリー)

直川 雅史 (三 島)

大会副委員長 (アシスタントレフェリー)

遠藤 充建 (山 本)

大内 康弘 (泉 北)

奥井 保亘 (寝屋川)

奥田 訓之 (枚方なぎさ)

下向 真治 (渋 谷)

大会委員 (会場レフェリー)

石井 祐耶 (旭)

犬伏 誠 (鶴見商業)

岩田 泰一 (池 田)

浦 尊博 (東住吉総合)

奥井 みなみ (桜 宮)

加藤 祐子 (北摂つばさ)

呉田 未来 (桜 宮)

重松 一剛 (吹田東)

下岡 絵里 (淀川清流)

鈴木 将二 (登美丘)

田中 佳奈 (高 石)

玉川 敬祐 (桜 和)

中村 愛美 (伯 太)

浜本 慎吾 (日 新)

藤森 洋弥 (日 新)

守谷 静香 (難波支援)

安田 一輝 (枚岡樟風)

吉藤 友香 (河 南)

進行係

各高等学校テニス部顧問

進行補助員

各高等学校テニス部部員

大会日程（団体戦の部）

令和7年10月19日（日）		各学校（第一会場、第二会場）*女子は1会場
10月26日（日）		各学校（原則、第一会場）
11月1日（土）	予備日	各学校
11月8日（土）	本戦QF～F	MTP北村 9:00 開始
11月23日（日）	予備日	MTP北村 9:00 開始

（備考）

- 大阪公立高等学校対抗テニス大会のベスト4は近畿公立高等学校対抗テニス大会の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校対抗テニス大会の日程
令和8年1月5日（月）・6日（火）
場所：つつじが丘テニスコート（和歌山）

大会日程（個人戦の部）

令和7年11月9日（日）	予選	各学校
11月22日（土）	予備日	各学校
11月24日（月）	本戦	MTP北村
11月29日（土）	予備日	MTP北村

（備考）

- 大阪公立高校テニス大会個人戦で上位の選手は近畿公立高等学校テニス大会個人の部の出場資格が与えられます。
- 近畿公立高等学校テニス大会個人の部の日程
令和8年1月31日（土） 予備日2月1日（日）
場所 MTP北村（大阪）

団体戦の部 大会注意事項

1. 試合会場について

- ・指定された日程・会場に従って、すみやかに試合を進めること。
- ・各チームは、指定された開始時間の15分前までに、引率顧問と試合に出場する選手全員が更衣を済ませ、試合ができる状態で出席を届けること。顧問・教職員の引率がない場合は失格となる。

2. 試合の順序、方法について

- ・各学校1チーム、複2・単3の5ポイントの団体戦とする。
- ・単 No.1、複 No.1、単 No.2、複 No.2、単 No.3 の順に試合を行うが、進行の都合上、試合を並行して行うことがある。会場の係の指示に従うこと。
- ・学校会場では5ポイントを全部行うことを原則とするが、天候、日没などの理由により勝敗が決まった時点でうち切ることもある。

3. 出場メンバーおよびオーダーについて

- ・オーダー用紙をHPよりダウンロードし各校で印刷し、会場に持ってくること。
- ・登録選手およびその順位は本要項掲載の名簿による。
- ・オーダーについては、登録メンバー内において、各対抗ごとに単・複組み替えてもよい。ただし、単については、登録順位の上位のものを、複についてはペアの登録順位の合計が上位の組を、合計も同じ場合は登録上位の選手を含む組を、オーダーの上位に置かなければならない。
- ・同一人が単・複を兼ねて出場できない。
- ・オーダー用紙に記入されたメンバー以外の出場は認めない。
- ・本戦のQF以降は対戦前にオーダー用紙を本部に提出し、オーダーの確認を受けること。予選においては本部に提出する必要はない。
- ・試合前に、コートに整列し、対戦校同士オーダー用紙の交換をし、選手を確認すること。
- ・相手チームのオーダーに疑義がある場合は直ちに確認すること。

※オーダーを間違った場合は次のように処理すること。

① 1試合も始めていない時点で間違いが発覚した場合は、正しいオーダーに組み直して試合を始める。

② 試合開始後に間違いが発覚した場合は、そのオーダーを有効とする。

(次の対戦がある場合は、正しいオーダーを提出)

- ・いかなる場合も、登録メンバー以外の出場は認めない。1チーム(4～10名)が構成できない場合、失格とする。なお、進行については、「秋季大会の新規定に沿った進め方について」に従う。

4. 試合に際して

- ・試合球はダンロップオーストラリアンオープンを用いる。
- ・試合は1セットマッチ(6ゲームズオールタイブレーク)である。
- ・サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。
- ・コートに入れる人は、プレーヤー、レフェリー、ロービングアンパイア、シングルスの場合のみ各学校1面にボールパーソン1人(ただし、ボールパーソンは何人とも会話をしてはならない)。ベンチコーチとして1面に1人。
- ・ベンチコーチは顧問、監督のうちオーダー用紙に記入されている方、もしくは登録メンバーに限る。
- ・会場校は各校に可能な限り対戦前に練習時間を設定すること。
また、試合前のウォームアップは3分を超えてはならない(レフェリー・会場係の指示が別にある場合はそれに従うこと)。
- ・プレーヤーは、試合中に誰からもいかなる方法においてもアドバイスを受けてはならない。また、何人もプレーヤーにアドバイスをしてはならない。エンドの交替時のみ、ベンチコーチからは可とする。
- ・この試合は、セットブレイク方式を採用しない(各セットの第1ゲームのサイドチェンジの休憩は認める。ベンチコーチからのアドバイスも認める)。
- ・応援は、他のコートへ迷惑がかからないようにする(テニス必携>大会情報>注意事項「大阪高体連テニス部主催大会(団体戦)における応援について」参照)。

- ・細かな規則については『J T Aテニスルールブック』に準ずる。規則・注意事項に関して、再三注意を受けても守らない場合は、失格とする。
- ・審判は、セルフジャッジとする（会場レフェリーが、オーバールールする事がある）。

5. 服装について

- ・服装は、J T Aテニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴなど）は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。靴は必ずテニスシューズのこと。
- ・試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない（ストリングロゴは、禁止する）。

6. その他

- ・公営コートでは試合開始後、試合に出場している学校や個人がコート进行練習することは禁止する。
- ・選手はもちろん応援も含めて会場へ行く際は、公共交通機関を利用すること。
- ・各会場では、校舎内への立ち入りをいっさい禁止する。会場で器物破損、その他暴行を働いた場合は、その生徒の所属する学校を対象に処分する。試合において不正があった場合も同様とする。
- ・ゴミなどは各自持ち帰るなど、会場の美化に努め、決して会場校に迷惑をかけないように、最大限の協力をしなければならない。
- ・大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ①大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ②了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。

7. 記録の報告について

勝ったチームは、HPよりダウンロードし自校で印刷した結果報告用紙に結果を記入の上、会場校に提出すること。会場校は、予選ブロック優勝校が決まり次第、結果をメール(houkoku@osaka-hs-tennis.com)で報告してください。なお、提出された結果報告用紙はデータ化し、メールに添付(PDFファイルがのぞましい)した上で送信してください。

件名	公立団体【男子・女子+ブロック番号】結果	※例：公立団体女子Ⅳブロック結果
本文	女子Ⅳブロック優勝 池田東高校	※ 男子か女子・ブロック番号・優勝校を明記
	会場 池田東高校 鈴木 秀夫	※ 顧問や学校教職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果(PDFファイルがのぞましい)	



個人戦の部

男子 予選ブロック 48ブロック

女子 予選ブロック 47ブロック ※谷 香凜(OBF)は予選免除

個人戦の部 大会注意事項

1. 試合開始と進行

- ・本戦は午前9時、予選は午前9時15分より試合を開始する。
- ・試合はオーダーオブプレーにより、原則としてドロー番号順に進行する。
(前の試合が終了すれば、すぐに試合に入ること。5分以内に入らない場合は、失格することがある)
- ・ジャッジは、会場レフェリーが権限として行う。

2. 出席の届け出

- 各会場とも試合開始時間の15分前（本戦8時45分 予選9時00分）までに、本人が更衣の上、大会運営本部デスクに出席を届け出る。届いていない場合は、棄権とみなし失格する。本戦は、顧問あるいは学校教職員と一緒に出席を届け出る。

3. 試合について

- 使用球は YONEX ツアープラチナムを用いる。
- 服装は、JTAテニスルールブックの服装規定による。不適切なウェア（長ズボン、ロゴなど）は、更衣を求める。更衣しなければ、失格することがある。靴は必ずテニスシューズのこと。
- 近年、対戦相手を間違えたまま試合をするというケースが起っています。必ず相手を確認した上で試合を始めること。
- コート内でのウォームアップはサービス4本とする（会場レフェリーの指示に従うこと）。
- サービスのレットは「ノーレットルール」を適用する。
- 審判はセルフジャッジとする。
- プレーは連続的に行われなければならない。MT Oは筋ケイレンでは認められない。
- 試合が終了すれば、勝者はすぐに結果を本部に報告すること（5分以内に）。
- 不適切なジャッジは、会場レフェリーが権限としてオーバーコールする。
- 一人が連続して試合をしなければならないときの休憩はレフェリーが考慮、判断する。
- アウト、インの判定を巡って相手側コートへ行くことは認めない（ローカルルール）。
- 試合中ラケットのガットが切れた場合、ラケットを交換してもいいし、そのまま最後まで試合を続行してもかまわない（ストリングロゴは、禁止）。

4. その他

- 試合において不正があった場合、また、器物破損などの暴行を働いた場合はその生徒の所属する学校を対象に処分を行う。
- レフェリーや会場の係りの指示・注意を守り、テニスプレーヤーにふさわしい行動をとること。
- JTA テニスルールブックなどにより、日頃からルール・マナーの研鑽に努めること。
- 大会中の撮影行為について、次の2点に注意すること。
 - ①大会会場において撮影する場合、必ず相手側にも了承を得るなどして、勝手に撮影をしない。
 - ②了承を得て撮影された場合も、本人の許可なくSNSなどにあげる行為を禁止する。

5. 記録の報告について

会場校は、試合日ごとに結果をメール（houkoku@osaka-hs-tennis.com）で報告してください。なお、ドローに勝者とスコアを記入した詳細報告はデータ化し、メールに添付（PDF ファイルがのぞましい）した上で送信してください。

件名	公立個人【BS・GS+ブロック番号】結果 ※例：公立個人BS15・16結果
本文	BS15. 1田中（箕面北） BS16. 16山本（池田東） ※ ブロック番号・ドロー番号・選手名・学校名を明記 会場 堺北高校 中村 大輔 ※ 顧問や学校教職員などの会場責任者が送信
添付	詳細結果（PDFファイルがのぞましい）

